

都市計画道路を考える 小金井市民の会

第54号 2020年10月8日
発行 都市計画道路を考える
小金井市民の会

連絡先 電話090-7847-3968 (事務局:阿部)

小金井市議会が、3・4・11号線の環境調査の中止と 2路線の見直しを求める意見書を採択

小金井都市計画道路3・4・11号線外の環境概況調査の中止と
長期的視点で2路線の見直しを求める意見書

東京都は、2020年8月17日に、小金井都市計画道路3・4・11外1路線の環境概況調査委託の入札を行ったが、市議会や市民の意見を無視した行為であり遺憾である。

小金井市議会は、6月、両路線について東京都に送付する7本目の意見書となる「優先整備路線に位置付けられた小金井市の都市計画道路2路線に関して、今年度の関連事務の停止と、長期的視点で事業化の見直しを求める意見書」を送付した。

2015年に優先整備路線(案)に選定されてから東京都が行っているパブリックコメントの結果も、小金井市の2路線に対し、97%が反対や見直しの意見であった。2019年度に小金井市が行った都市計画マスタープラン策定に当たってのアンケートでも、2路線の周辺に住む方の44%は事業を知らないという回答であり、現状、事業を進められる状況にはない。

よって、小金井市議会は、東京都に対し、小金井都市計画道路3・4・11号線外の環境概況調査を中止し、長期的視点で2路線の事業化の見直しを強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月25日

小金井市議会議長 五十嵐 京子

東京都知事 様

市議会意見書採択、今年3件目
小金井市議会は、9月25日、東京都が3・4・11号線の環境概況調査の入札を行ったことに対し、調査の中止と優先整備2路線の見直しを求める意見書を採択し、東京都知事に提出しました。市議会の2路線に関する意見書採択は、2020年にはいって3件目となります。

東京都が環境概況調査の入札結果発表

東京都は3・4・11号線の環境概況調査の入札結果を9月17日発表しました。

落札者 ユーロフィン日本環境株式会社

落札金額 2,959,000円

調査期間：来年11月1日までです

委託目的：「計画道路周辺における動植物の生息・生育状況を把握することを目的として実施する基礎的調査」

調査範囲：武蔵野公園及び野川公園、野川のうち、計画道路端部から100m程度の範囲

「事業ありき」が前提の調査は、市民を納得させるものにはなりません

住民監査請求でハケの自然を守る集会のお知らせ

東京都は3・4・11号線オープンハウスで1000万円以上を支出し、今後、環境概況調査も予定していますが、この支出は、違法な支出のため、都知事に対し住民監査請求する予定です。国分寺崖線(ハケ)に唯一残された自然と生態系の「宝庫」を子供たちや未来の世代に引き継ぐため市民向け懇談会を開催します。

日時：2020年10月18日(日)、午後2時~4時

場所：宮地楽器ホール 小ホール

費用：資料代として200円

主催：「住民監査請求を求める都民有志の会」

協賛：「都市計画道路を考える小金井市民の会」

「3・4・11号線関係住民の会」

新型コロナウイルス感染対策のため人数制限があります

「市民の会」のホームページ ⇒ [小金井道路市民の会](https://koganeiroad.jimdo.com/) <https://koganeiroad.jimdo.com/>

「市民の会」のフェイスブック ⇒ [都市計画道路を考える小金井市民の会](#)

多摩の地域で新たに2つの住民団体が活動 国立と東久留米で

9月の多摩地区の道路連絡会に新しい住民団体が加わりました。東久留米と国立でも、自然を破壊しようとしている東京都に見直しを求めて活動しています。

国立市で、道路見直し求める 住民の会が活動

多摩地域の道路運動連絡会に新しく参加した「くらしと道路問題を考える2020」は、国立市の矢川地区を南北に貫く国立3・3・15号線の見直しを求めて昨年からの活動を始めています。最初は1人、そして、3人、さらに住民運動全都連絡会・全国連絡会の長谷川さんを招いての講演会から大きく広がって、議員にも働きかけ、チラシも6号まで発行しています。

「黒目川を守る会」を結成し、多摩地区の市民団体と協力しながら活動しています。この黒目川と両側の遊歩道、桜並木を横断する橋が架けられる現地を見てきました。川の両側の遊歩道が整備され、桜並木や小さな公園がある素敵なおとろ。住民が「道路いらない」というのは、その通り。東久留米市のジョギングコースにもなっている。「黒目川を守る会 桜の公園をつぶさないで」「ここまで橋がかげられます」と矢印も、川の柵に取り付けられていました。

東久留米で桜並木の黒目川を横断 する都市計画道路

桜並木と様々な鳥がみられる黒目川を2か所で横断する都市計画道路、優先整備路線の第四次事業化計画となり、昨年、第1工区が、今年8月に第2工区の事業認可がなされました。



質問に答えて

「3・4・11号線外」の「外」ってなに？

正式名称は「小金井3・4・11号線外」。この路線名は、小金井市内の計画道路と府中市の計画道路3・4・16号線の一部（武蔵野公園内の東八道路まで）含まれているため、「外」が加わっています。

<前回以降の活動経過>

- 9月3日 第53回世話人会
- 9月13日 監査打ち合わせ
- 9月17日 多摩地区道路連絡会
- 9月19日 監査打ち合わせ
- 9月24日 都市計画マスタープラン策定委員会傍聴
- 10月8日 第54回世話人会

<今後の日程>

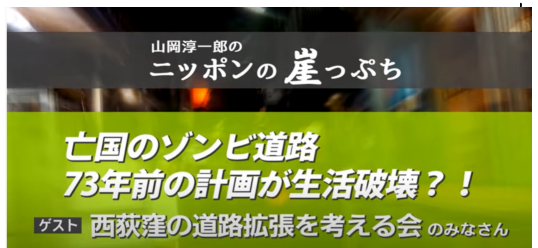
- 10月18日 監査請求懇談会
- 11月5日 第55回世話人会

<都内の裁判>

- 10月21日 羽村駅西口訴訟15時30分東京高裁809号
- 11月5日 大山26号線訴訟 14時東京地裁103号法廷
- 11月18日 品川29号線訴訟 時間未定 東京地裁
- 11月19日 世田谷放射23号線訴訟 15時 東京地裁
- 11月24日 外環道訴訟 14時 東京地裁103号法廷

西荻駅北口商店街をつぶす道路計画

西荻駅北口の商店街の道路を拡張（11mを16mに）して、商店を追い出す計画が進められ、商店街の人たちが中止を求めて運動しています。



その様子が「『ニッポンの崖っぷち』『ゾンビ道路』が街を壊す～東京都杉並区（山岡淳一郎×西荻窪の道路拡張を考える会）20200923」の動画で紹介されています。2004年ごろから動き出し、優先整備路線の第四次事業化計画に入れられ、今年、2月東京都が事業認可しました。

「ニッポンの崖っぷち ゾンビ道路」で検索できます

コロナ後の都市を問う＝隈研吾氏

隈研吾氏は、「コロナ後の都市と建設」の論文で、「コロナ後に、われわれは、どのような都市を作り、どのような建築を作らなければいけないのだろうか。」と問い、「ひとつのテーマは、ハコからの脱却である」とし、「公園は空調しなくても、十分に気持ちいいが、ハコは空調し続けなければならない。」と述べ、車とエアコンによって都市がどす黒く汚されたと、警告している。